

きらめき



通所リハビリ
ご利用者様の作品

能登のキリコについてのある考察

北陸新幹線が開業し、金沢や能登にも国内外から大勢の観光客が訪れている。能登地方のキリコ祭りは文化庁の日本遺産に指定され、私も初めて宇出津のあばれ祭りにゆき、ハッと思いついたことがあるので紹介したい。これまで医学・医療・介護に関わってきたが、医の漢字になぜ矢があるのか不思議に思ってきた。いろんな本を読むうちに最近やっと答えらしいものがみえてきた。医は仁術というが、矢ですぐに思い浮かぶのは、弓道など武術に関係のあるものである。医は匚（はこがまえ）の中に矢をいれている字である。実は矢には神聖な力があり、そのことは破魔矢や流鏑馬などに表れており、前者は魔除け、後者は鎌倉鶴岡八幡宮などで行われる神事である。旧字の醫には爰（るまた）と酒のつくりが含まれる。爰は「投」など手で行われる動作で、醫の下部は霊力の宿った御神酒である。すなわち、醫の意味は「矢で悪霊を祓い、邪悪なものを投げ捨て、霊力によって」健康を回復することである。このように医術と神の霊力は深い関係にある。キリストやイスラムなどの一神教と違い、日本で神といえば白山や鎮守の森など森羅万象に宿り、大自然のどこかを遊行しており、ときに人間界に降臨してくる。驚くことに、中国や日本の神は階段で下界に降りてくるのである。この階と降の漢字には卩（こざとへん）が含まれるが、古くは「阜」であり、書筆でなめらかな卩に変化した。阜（卩）の形は神が昇降する階段・梯を表しているのである。それは、卩を含む漢字には神に関する字（厄除や医院など）が多いことから推定される。能登のキリコは他の地方には見られない独特の御神灯である。しかも大きな字で「蒼空舞」や「月日招神龍」と書いてある。以上のことから、あのキリコ特有の形は「蒼い空を舞う神を招く梯」と考察するのが自然と思うがどうだろうか。これはどのキリコの解説にも書いておらず私の妄想？かもしれないが、「苦しい時の神頼み」も淡い妄想にすぎないのである。このような漢字に興味のある人には、東アジアの古代漢字文化に独創的な研究を築き上げた白川静（1910-2006、福井出身）の字書や入門書（常用字解、平凡社刊）を是非お勧めしたい。

施設長 吉本 谷博

春



お花見

お花見



いい音色ねえ...

旭日公民館女性学級

石川県庁ドライブ

ひやくまんさんとはい!チーズ☆

歳時記 一年の笑顔

歌謡ショー

聞きほれるね~!



一緒に!!

お腹にひびく太鼓の音!!

秋



見事なもんだ!

大場潟乃太鼓演奏会

夏祭り

みんな手を取り...



スマイル!

みんな常夏気分!

フラダンスショー

森本小学校クリスマス交流会

とても素敵なプレゼント! ありがとうね



新年会

冬

老健ホームいしかわのリハビリについて

理学療法士 米田 雅章

当施設のリハビリ部門の職員は、常勤・非常勤を含めて理学療法士2名、作業療法士2名、介護職員1名の配置となっており、介護老人保健施設入所（短期入所含む）および通所リハビリテーションの利用者様のリハビリを担当しています。

当施設のリハビリの流れを施設入所の場合を例に説明します。まず施設入所前の生活状況について把握することに努めています。利用者様との面接を行った支援相談員からの情報も活用しますが、ご本人様・ご家族様から直接伺って得る内容は重要と考えています。利用者様によって入所に至る経緯も目的も様々であり、ご本人様・ご家族様のこれまでの人生の関わりを通してその想いやニーズをくみ取り、受け止めることからスタートします。基本的に入所当日より、医師の指示に基づいてリハビリを開始しますが、最初に心身機能の状態や日常生活動作の能力を把握するために検査（評価）をさせていただきます。人が日常的に行っている生活行為が病気や老化、長年の生活習慣、環境によって影響を受け、その生活行為が継続できなくなります。生活行為が再び獲得できるためには、何が原因でできなくなっているのかを多角的に捉える必要があります。訓練室だけでなく療養棟生活において生活行為の実行状況を療養棟職員と協働で評価し、生活行為の遂行障害を生じさせている要因を分析します。それと同時に生活目標の設定を行います。この生活目標はご本人・ご家族様から聞き取ったニーズ（生活の課題）を反映し、介護支援専門員が立案したケアプランと整合することです。心身機能・活動と参加の分析・環境因子の3つの視点から、現状能力（している能力）と予後予測（できる能力）により達成可能な生活目標を決定します。

次に生活目標達成のためのリハビリテーションプログラムを立案します。実際の訓練プログラムは利用者様一人ひとりで異なりますが、訓練室で行う体操や筋力向上訓練・歩行訓練や作業療法等だけではなく、療養棟で行うベッド上動作訓練・トイレ動作訓練・食事動作訓練などの様に生活に根差した日常生活動作訓練が特に重要であると考えています。さらに目標が在宅復帰を目指す利用者様には、必要に応じてご自宅の訪問などにより在宅における生活環境を把握した上で、想定される在宅生活に則した生活機能の向上を目指すプログラムを提示させていただきます。

当施設のリハビリの取り組みはリハビリ職員だけではなく、ケアプランに基づいて療養棟職員を含め多職種協働で自立支援を目指して計画的に実施しています。毎日の反応や達成状況を見ながら訓練メニューを調整します。評価は基本的に3ヶ月毎に行い、ケアプランの見直しに合わせリハビリプログラムの見直しを行います。利用者様が生活目標を達成して生活機能が向上できる、満足度のある楽しいリハビリを提供できるように心掛けています。

いきいきライフ委員会の紹介

副主任介護職員・委員長 大西 美和子

老健ホームいしかわには、多職種を構成メンバーとした11の委員会があります。開設当初からレクリエーション委員会として活動してきましたが、平成25年度からいきいきライフ委員会と改称しイベントの企画・実施、ボランティアの受け入れ、個別対応レクリエーションなどで施設利用者様に「楽しみ」「喜び」「笑い」を生活の中に取り入れてもらえたらと月に1回委員会を開催し11名で活動しています。

ボランティアの協力を得て、月に1回歌謡ショーや演舞などを開催していますが、大きなイベントとしては近隣の方々やご家族を交えた「夏祭り」や、職員が舞台に立つ「新年会」があります。「新年会」では各部署で趣向を凝らした出し物に感激して涙する利用者様がありました。利用者様の笑顔が全職員の活動源です。一緒に楽しめる事をもっと取り入れたいと委員会で話し合っています。

今季、新しく季節を感じて頂くためにと少人数グループでドライブを実施しました。車窓から秋を楽しんでいただき、街並みを懐かしみ昔話に盛り上がり、紅葉に拍手され感動は様々でした。春には桜、夏は海、冬は雪と計画はありますが、ボランティアのお手伝いがあればもっと楽しくなるのではと感じます。楽しくいきいきとした生活を過ごして頂くためのお手伝いをさせていただきますが、皆さんのご協力があれば今以上に楽しい生活の場ができると思います。何か楽しそうなイベントがあればぜひご紹介下さい。



新年会より

〈老健ホームいしかわ〉

施設理念
利用者本位の 地域に優しい
社会から支持される 福祉活動を
是 献身的な精神で 提供する

基本方針

- 利用者の意志及び人格の尊重
- 利用者の有する能力に応じ、自立支援を目指すサービスの提供
- 地域及び家庭との結びつきを重視した運営
- 職員、組織、施設として研修により人材の育成を図る

最後まで「きらめき」をご覧くださいまして、ありがとうございます。

この仕事に携わっていると沢山の人の人に出会います。その方々一人ひとりが笑顔になって頂ける様に何事も日々心を込めて取り組んでいます。その想いが紙面を通して少しでも伝わっていれば幸いに存じます。

そうやって沢山の人の人と接していると新しい発見や学びの場を頂きます。先日も心温まるお手紙を頂戴し、嬉しさや感謝でいっぱいになりました。反面、そこまで言っていただけの事が出来たのだろうか、今も出来ているのだろうかとの引き締まる想いです。

「医の漢字になぜ矢があるのか」「能登のキリコは神を招く梯なのだろうか」。そんな風に身の周りの小さな疑問にもしっかりと向き合い精進していきたく思います。

皆様の人生が更にきらめくものになりますよう、心よりお祈り申し上げます。

(A・N)

ボランティア等をして
頂いたみなさま、
本当にありがとう
ございました。

今後も「話の相手」
「本読み」
「散歩の同行」等のお
手伝いをしてくださる
ボランティアを
募集しています。



編集 後記